



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

市長とトーク

木炭窯5月に移転調査へ 跡地利用は県と協議継続



この土地は県から市が借地しているもので、地域でまちづくりの拠点として活用するにしても県の同意が必要で、

鉄板に囲まれた木炭窯遺構のある土地は、開発条件として飛鳥都市開発が警察用地として県に無償で寄贈した土地ですが、将来的に警察施設が建設される見込みはありません。土地代金は地域住民が購入代金の中で負担しているもので、跡地は住民のために活用されるのが妥当です。

この一年間、市から具体的な提案はありませんでしたが、合意を実現していくためには、今年度下期に撤去、更地化に必要な予算措置を講じる必要があるところから、「早急に具体的な取り組みについて提示してもらいたい」と提議しました。

市長を囲んでまちづくりを語り合う「市長とまちづくりトーク」が2月6日、志津南市民センターで開かれました。写真。トークには橋川市長のほか幹部六人、地域からは各町内会長八人が出席しました。また課題の共有化と継承のため次年度町内会長予定者八人が傍聴しました。今回のテーマは、昨年度のトークで平成23年度までに撤去し、跡地を協働のまちづくり拠点として活用していくことで合意、確認書を交わしている「木炭窯(野路遺跡出土)撤去跡地の利用」について。

これに対して、市は「史跡を移転できる業者が見つかった。5月には移転に必要な現状の調査を行う。調査費用の予算化の手立てもしている。また、跡地

利用については、青山地区にも警察用地があり、志津派出所も交番になり、当用地が使用される可能性はないが現時点では断定できない。このため、恒久施設を作らない方法で町づくりに活用できるように地域の考え要望も伝えて県側と折衝していく。市民センターを含めたまちづく

飼い犬の公園散歩ノ一

今月から地区内全公園で



中央公園に設置された看板

り施設の構想づくりを地域と協働で進める」と回答しました。これを受け「地域も一体となって相互の信頼関係を高めながら協働で取り組んでいくので具体的に進めてもらいたい」と作業工程の提示を求め、市側もこれを了承しましたが「大幅な税収減で市の台所は苦しい。資金の手当てにも地域の協力が得られないか」と苦しい胸の内を明かす一幕もありました。

民も「モラルに訴えるだけでは見通しが絶たない」と受忍限度を超える状況となっていました。幼い子どもたちをはじめ、多くの人が公園を安心して憩える場所にするためにやむにやまれず取った処置です。マナーを守らないほんの一部の飼い主のため、不自由を感じる飼い主の方もおられることと思いますが、気持ちよく暮らせる住環境を作っていくために公園以外の場所でもモラルを守った対応をお願いします。住民同士が理解し合い、助け合っていくことが、これまで以上に求められる少子高齢社会を迎えています。個人としての生き方も大切ですが、地域住民としての暮らし方がより大事ではないでしょうか。

昨年未の1丁目の児童遊園に続き、今年2月1日から、地区内全ての児童遊園、児童公園で飼い犬の立入りが禁止となりました。今回の措置は、住民の総意に基づくもので、飼い主の方の中には異論がある方もおられますが、住民に気分よく公園を利用してもらう上からもご理解賜りますようお願いいたします。

数年来の懸案であった今回の措置をきっかけに、みんなが認め合える志津南にしていくためにも、一人の百歩より百人の一步」を願う次第です。(自治連)

こよみ

- 2月17日(水)
 - ランチタイムコンサート
 - 12:30~13:30
 - アミカホール
 - 2月20日(土)
 - 健康ウォーキング
 - 8:45 若草中央公園集合
 - 2月21日(日)
 - ふれあいコンサート
 - 10:00~12:00 社協
 - 2月23日(火)
 - 地域サロン: 懐メロを歌う会
 - 10:00~11:30
 - 2月24日(水)
 - やすらぎ学級
 - 13:30~17:00
 - 2月26日(金)
 - 税の申告相談お出かけ会場
 - 10:00~15:00 市税務課
 - 2月27日(土)
 - 社会奉仕
 - 8:45 若草中央公園集合
 - 3月5日(金)
 - 定例健康相談日
 - 9:30~12:00 市健康増進課
 - ふれあい昼食会
 - 12:00~13:00
 - ボランティア「泉」
 - 3月6日(土)
 - 健康ウォーキング
 - 8:45 若草中央公園集合
 - 3月9日(火)
 - 地域サロン: 懐メロを歌う会
 - 10:00~11:30
 - 3月10日(水)
 - やすらぎ学級 閉講式
 - 9:15 集合、彦根へ
 - 3月13日(土)
 - 高穂中学校卒業式
- 印の場所は志津南市民センター(公民館)です



人形劇を鑑賞する園児や地域の人々

演目は、ジャックと豆の木、3匹の子ぶた、さくや姫の大仕事、三つ。背景にスーパーマンやアンパンマンなども現れるという現代風のアレンジに子どもたちは大喜びでした。また「3匹の子ぶた」では助け合うかわい子ぶたたちの活躍を、時にいたずら狼の大声にびっくりしたりしながら真剣なまなざしで見入っていました。最後の「さくや姫」は映像のようなペープサートで桜の花のように美しい

「おにぎり村」がやってきた

志津南地区民生委員・児童委員協議会と「若草おやこクラブ・たんぼクラブ」共催の人形劇サークル「おにぎり村」(湖南市)の公演が2月4日、志津南市民センターで開催されました。

ぬくもりのこもった人形劇を

通しふれあいの場をと催したもので、心温まる楽しいお話や人形たちの動きにお母さんに抱かれたニコニコ顔の幼児たち57人、若草くるみ保育園のお友達85人、それに地域の人たち59人が楽しいひと時を過ごしました。



「農の匠」の中島不二子さん(農業)を講師に迎え、一般には流通しない規格外米(中米)の粉を使ったデザート作りにチャレンジしました。

参加者は、子育て中の若い女性が多く、「お米で、こんなにふつから!」とシフォンケーキの出来栄に驚いていました。

また、一般に流通している米と中米(くず米)の食べ比べでは、「甘味があるし、安く手に入るならいいのに」「飼料にはもったいない」と、地産地消を考へるひとときとなり、中島さんから差し入れられた甘酒やお漬物を味わいながら「次は、お漬物を教えてほしい」「お米のパンも」と注文するなど、なごやかに会話も弾み、地元草津の農産物や加工品にも関心が高まった様子でした。

地元産米粉でケーキづくり

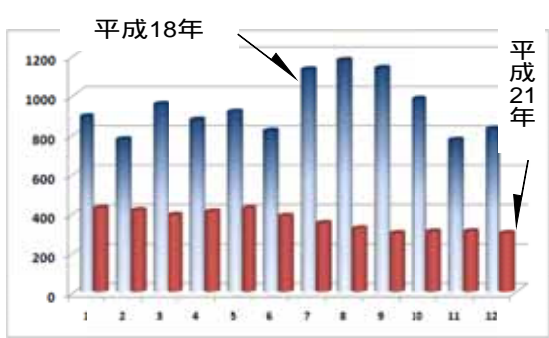
志津南市民センター(公民館)は1月22日、草津産米を使ってデザートをつくる「食育講座」を開催しました。写真

「農の匠」の中島不二子さん(農業)を講師に迎え、一般には流通しない規格外米(中米)の粉を使ったデザート作りにチャレンジしました。

参加者は、子育て中の若い女性が多く、「お米で、こんなにふつから!」とシフォンケーキの出来栄に驚いていました。

また、一般に流通している米と中米(くず米)の食べ比べでは、「甘味があるし、安く手に入るならいいのに」「飼料にはもったいない」と、地産地消を考へるひとときとなり、中島さんから差し入れられた甘酒やお漬物を味わいながら「次は、お漬物を教えてほしい」「お米のパンも」と注文するなど、なごやかに会話も弾み、地元草津の農産物や加工品にも関心が高まった様子でした。

女神のお話しに「映画みたい」という声も聞かれ、1時間あまり公演に会場は熱気に包まれました。



低迷する若草ネット

志津南ホームページ「若草ネット」は平成16年4月にスタート、現在までに2回のリニューアルを行い、平成20年7月1日からはトップページに牟礼山から見下ろす志津南の町並みをシンボルカットにしたほか、フレームに分割しインデックスを固定、シンプルにしました。

同時にページ全体を見直しデザイン的に見やすいものを目指しました。すっきり見やすくしたほか、情報のくくり方にも工夫をこらし、より検索しやすくなりました。また、新しく自治連を中心とした「年間行事予定」のページを新設、行事予定に一覧性を持たせました。

同ホームページは、自治連がネットと広報紙「志津南ニュース」の一体運営をめざして、平成20年度に新設した広報委員会が所管しています。

しかし、アクセス数は発足後の平成18年と平成21年を比較すると、月別で約半数以下、一日平均のアクセスは平成18年が31回だったのに対し、平成21年は一日平均12回と激減しており、地域住民のニーズが十分に把握できていないのではと苦慮しています。維持管理についても工夫が必要ですが、特定の個人依存の現状では限界があります。

これらを少しでも解消できるように、現在スタッフの増員やコンテンツの見直しなど委員会で議論を深めているところです。

運営にお手伝いしていただけの方を募ると同時に、住民みんなのホームページ「若草ネット」を盛り上げていくためにも、多くの方にご覧いただき、事務局(公民館)までご意見をお寄せ下さることを期待しています。

(広報委員会)

サークル万歳

<21>

る色使いの作品が並んでいたのである。聞けば「つくしの会」という色鉛筆画のサー

ンとしているのが普通だが、こはそうでない。50代から90代までの女性ばかり9人、にぎやかなのも無理はない。

代表の広瀬栄子さん(若草5丁目)に話を聞いた。

つくしの会が発足したのは去年の4月。まだ一年も経っていない。きっかけは公民館の教養講座「色鉛筆画講座」(3回シリーズ)だった。これを通して「もっと単純かな、と思ってい

たが、深い色が出る。色鉛筆の具をかませれば深い色も出せる」と絵の具の相互乗り入れをこれからのテーマに挙げる。

でも、みんなとても楽しそう

だ。榎原さんは「描きたい気持ち、楽しんで描ける、これが大切。自分の感じたことを素直に描くという心を大切にしてい」と9人にエールを送った。

「色鉛筆」と聞いて思い出すのは、子どもの頃に親しんだぬり絵だろう。下絵の上に赤や緑、青、黄などの色をぬっていくと、絵が命を吹き込まれたように生き生きしてくる楽しさがあった。

去年の暮れ、市民センター(公民館)で「ふれあいミュージックソン」が行われた折り、ロビーに展示されていた色鉛筆画を見て驚いた。そこには水彩画と変わらない多様で深みのあ

花や野菜がなんと20点も並んでいる。これらモデルたちを囲んで思い思いにターゲットを選んで絵を描いている。しかも口もなかなか活発である。たいいての絵のサークルでは

イメージがガラリと変わった。続けたい。受講生からこんな声が上がリ、講師だった洋画家の光陽会会員の榎原喜六さん(湖南市在住)にお願いして指導してもらうことになったというわけである。

「短い時間も利用できるし、同じように色を重ねていくにしても水彩や油絵よりも手軽」(広瀬さん)とぞっこんだ。最高齢の黒田起美江さん(91)「若草1丁目」も「この会は、若い人が多く若返る。描いた絵を見た孫娘が『ずっと続けて』と72色の色鉛筆をプレゼント

色使いに奥深さ

色鉛筆画 つくしの会

代表 広瀬栄子
会 員 9人
活 動 毎月第3火曜日午前9時30分から正午まで志津南市市民センターで
会 費 年額3000円。開催日参加費500円
連絡先 広瀬代表 電話(565)1369

多種多様なモデルを相手に色鉛筆を走らせる



「色鉛筆」と聞いて思い出すのは、子どもの頃に親しんだぬり絵だろう。下絵の上に赤や緑、青、黄などの色をぬっていくと、絵が命を吹き込まれたように生き生きしてくる楽しさがあった。

去年の暮れ、市民センター(公民館)で「ふれあいミュージックソン」が行われた折り、ロビーに展示されていた色鉛筆画を見て驚いた。そこには水彩画と変わらない多様で深みのあ

今年度分の歩道 改修工事終わる



改修工事が終わった歩道

地区内に設けられている歩道の約半分が冬でも凍結しない透水性舗装になり、歩道と車道スリツケをバリアフリー化する今年度工事(2丁目から5丁目)の歩道の改修が完了し、安心して歩けるようになりました。

今後予定されているかがやき通りは車も多く工事期間中は不便をおかけすることが多くあるかと思いますが、工事が完成すれば人も自転車も安全で安心して通行出来るようになります。

今しばらくは不自由をかけますが、足元などに十分ご注意ください。この改修工事は市全体の事業の中で取り組まれているもので、完了するまで少し時間がかかりますが、工事の円滑な施工と安全なまちづくりにご協力賜りますようお願いいたします。

(自治連)

26日に税の申告相談
市・県民税申告の「お出かけ相談」が、2月26日(金)に志津南市民センター(公民館)会議室で行われます。

受付時間は、午前10時～正午と午後1時～3時です。草津市民の方で、市・県民税の申告相談や確定申告書の提出もできますので、ご利用ください。

証明類発行を一時停止
草津市は、区画整理事業に伴う情報整理のため、2月27日(土)、28日(日)の2日間、戸籍謄本や住民票などの市民課の諸証明と所得証明や納税証明など、税務関係の諸証明書類の発行を停止します。ご注意ください。

公民館にもAED設置
志津南市民センター(公民館)のサロンにAED(自動体外式除細動器)が設置されました。

AEDは、心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショック(除細動)を与え、心臓の働きを戻すことを目的とした医療機器です。

近隣では、小学校や銀行などにも設置されています。万が一に備えて、ご承知ください。